



祝150周年

やさしさと 思いやりで

# 笑顔がいっぱい!



つながれ かがやけ 山里小

## メディア機器との付き合い方を考えよう!

11月末、オーストラリアで、子どものSNS利用を禁止する法案が世界で初めて可決されました。今や子どものネットトラブルは世界的に大きな問題となっています。「画像の拡散」「ネットいじめ」「なりすまし」「高額請求」「ゲーム依存」等、あげればきりがありません。スマートフォン等のメディア機器は便利な反面、危険性をはらんでおり、子どもが責任をもって運用できる範疇を超えています。まずは、改めてこのことを共通確認したいと思います。

### メディアルールの徹底を

言うまでもなく、メディア機器の使い方については、各家庭が決めることであり、その責任は保護者にあります。スマートフォンを持たせることも、その必要性やリスクを十分に考慮した上で、各家庭で判断されていることと思います。その前提に立ちつつ、ご家庭でぜひ行っていただきたいのが（すでに行っているとは思いますが）、メディア使用のルールを決める、見直すということです。

長崎市PTA 連合会からの提言で「メディアルールの徹底」というものがあります

長崎市PTA  
連合会からの  
提言

**「メディアルールの徹底」**

**ネット・電子メディア利用は  
ながさき基準・夜9時まで!**

一人ひとりが大切な時間をもっている。  
よる9時からは、それぞれの「わたしじかん」。

SNSはあなたのお子さんにとって  
本当に必要ですか?  
ネット被害から子どもを守るのは保護者です!

ネット・電子メディア利用  
よる9時まで

長崎っ子のためのメディア利用  
委員会作成「ながさき基準」ロゴ

「ネット・電子メディア利用は ながさき基準・夜9時まで!」と示され、「何のために使うのか」「いつまで使うのか」「どこで使うのか」「保管場所は」「どのように使うのか」「約束が守れなかったときは」など家族でよく話し合い、お互いが納得のいくルールを作ろうという提言がなされています。保護者が責任をもってネット被害から子どもたちを守るという観点からの提言です。

### 相手を思いやるやさしさを ～ネットでも普段の生活でも～

SNSの文字や画像のメッセージは直接会って話すことに比べて思いが伝わりにくく、誤解が生じやすいため、トラブルの要因となっています。ついつい悪口がエスカレートしてしまうこともあります。「顔を合わせて直接その人に言えない言葉や文章は、書き込まない。」「そういう書き込みを見たときは同調しない。家族等に相談する。」こうした指導を家庭でも学校でも徹底していきましょう。このことはメディア使用に限らず、学校生活全般でも大切にしたいことです。本校の教育目標は「やさしさと 思いやりで 笑顔がいっぱい」です。「相手のことを思いやるやさしさ」、これをどの子どももてるように取り組んでいきたいと思ひます。

本校では、12月10日、学校保健委員会講演会を兼ねたメディア安全指導教室が行われ、メディア安全指導員の方に、5年生と保護者に向けて、主に健康被害の側面から講話をしていただきました。長時間使用で生活のリズムが乱れるだけではなく、脳への影響があること等、子どもたちの心にもしっかりと響いたようです。今後とも、学校では情報モラル等に関する指導を行っていきます。家庭と学校で協力しながら、子どもたちの安全をみんなで守っていきましょう。